

市町村合併を考えよう！

No.11

最近の市町村合併議論に対しては、「時期尚早」「住民の盛り上がりがない」「国からの押し付け」「昭和の大合併でも合併しなくて困らなかった」「他の団体の合併をみても良くなっ

ていない」「今のまま、変わらないほうがいい」などの声が聞かれる事があります。

また、これとは逆に、「今は良くても将来が不安」「住民にとって良い事なら」「将来の子供達のために」といった声も聞かれます。

国の財政難のなかで行政改革が行われようとしています。地方自治

体も苦しい立場にあります。

「自分たちの町は自分たちの力で」というのが行政の基本ですが、少なくなる収入のなか、現在よりも下方修正となることが危惧されており、将来の見通し

は明るくありません。

今はまだなんとかやっていけるから合併議論は早すぎる、駄目になった時合併すればと言う考えにより、ここで議論を深く行わないとしたら、そこに住む住民にとってそれは良い事になるでしょうか。今できることを模索し、「総合的に前進できる道」を考えると、その有効手段としての「合併」があるわけ

です。もちろん、熟慮の上、合併をしないと決めた自治体もあります。それぞれにより事情はありますし、選択は自由なのです。



八月二十六日に発足した「佐久市・白田町・浅科村・御代田町任意合併協議会」は、これらの考え方により、合併の可能性・

任意合併協議会のホームページが開設されました

URL

<http://www.city.saku.nagano.jp/gappei/index.htm>

町のホームページからも検索できます。

ご覧ください。

町制施行
平成14年度

男女共同参画

10/27(日) 13:00～
入場無料

方法を研究する場として設立されたものです。

「法定」の協議会が、合併するための基本的な制度づくりと法手続開始の場として捉えられ、その事前段階として幅広い分野にわたっての調査・研究ができるのが「任意」の協議会であると言えるでしょう。合併が有効手段であるとして

も、これからの事です。住民の皆さんも不安は多いかと思えます。

多い不安としては次の二点があげられます

・中心から離れた所は置いていかれる。声が届かない。

住民のための合併が原則であるため、関係市町村からそれぞれ

の周辺部にも配慮したまちづくり計画を出し合い、住民代表

の方も交えての話し合いをしていきます。広域的に見た場合、

その地域の歴史・文化など、特性を生かせるよう考えていきます。

自分の地域を見つめなおす良い機会にもなるのではないでしょう

・役場がとおくなる。不便。

合併後も、それまでの市役所や役場は、引き続き新市の支所

として活用されますし、住民票の発行など、地域ニーズの高い

事務は従来どおり行われます。又、職場に近い支所などで申

請もできるような利点もあるでしょう。

これら不安を解消するための議論が、これから任意合併協議会で行われる事となります。会議を公開し、また、みなさんの声も聞きながら、十年後、二十年後になって、四市町村の住民が「合併してよかった」と思えるようなまちづくりをするため、慎重な対応が必要です。

行政・心配ごと相談のご案内

10月21日(月)から10月27日(日)は秋の行政相談週間です。

この週間に合わせて、次のとおり相談所を開設します。

日時 10月23日(水) 午後1時から4時
場所 町総合福祉センターあいとびあ白田
内容 道路・農地・公害・登記・福祉・その他行政に対する苦情・要望等、また金銭・家族関係等の心配ごとなど何でも構いません。行政相談委員、心配ごと相談委員が合同で相談に応じます。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にお出かけください。

なお、行政相談委員は住民と行政のパイプ役として活動しています。相談はいつでも受け付けていますので、身近な問題解決のためにどうぞご利用ください。

○行政相談委員

梅香郁夫 82-6633

○心配ごと相談委員

広瀬綾子 82-2591